



よし だ ひろ やす  
吉 田 博 康



けん と  
県都クラブ

### 地域経済対策で第2弾の商品券発行の考えは

**問** 市内の消費拡大と地域経済を活性化する目的で、総額19億6,000万円分のプレミアム付商品券が発行され、昨年12月31日をもって使用期間が終了した。

令和3年度もコロナ禍の状況が続き、先行き不透明な状況であり、さらなる地域経済対策として、国で成立した第3次補正予算の地方創生臨時交付金を活用し、第2弾のプレミアム付商品券を発行する考えは。

### 補正予算の編成も含めて今後を考えていく

**答** 現状においては、飲食事業者の皆さんにとって、特に厳しい状況になっているという点を踏まえ、まずは、飲食事業者への支援を令和3年4月から早々に行うべく、その経費を当初予算に盛り込んだ。

ただ、これで終わりということではなく、今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、プレミアム付商品券事業のような消費喚起策が望まれるのか、特定の業種の方々へのダイレクトな支援策が必要なのかを、しっかりと見極め、補正予算の編成も含めて、今後を考えていきたい。

### ●その他の質疑・質問●

○新型コロナウイルスワクチン接種等事業委託について

- 医療機関の接種協力の状況は
- ワクチン接種の予約方法は

○ペットボトルのリサイクル事業について

- 市内のペットボトル再生工場の操業を契機とした取り組みを
  - 持続可能なまちづくりへの一つとして資源循環型社会の推進を
- など



▲事業者や市民の皆さまからも商品券再発行を望む声は多い



おお の ひろし  
大 野 寛



しん わ かい  
津 和 会

### 津市の地球温暖化対策実行計画について問う

**問** 昨年、菅総理が2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す宣言を表明した中で、津市は令和3年1月に津市地球温暖化対策実行計画（案）を作成し、パブリックコメントを実施した。

この計画における津市の施策としては、二酸化炭素の吸収源となる森林の整備が特に重要であると考えているが、どうか。

### 目標達成のために体制の充実に努める

**答** 津市地球温暖化対策実行計画（案）では、国や県との連携や、市民が日常的に取り組めるエコ活動の推進などを講じることで、平成25年度と比較して、令和3年度からの10年間で温室効果ガス排出量を30%削減することを目標としている。

ごみの分別によるごみの減量やプラスチックごみの焼却量の削減に加え、健全な森林の整備促進により、二酸化炭素の吸収量を確保することが、温暖化対策に効果的であると考えている。

今後、森林環境譲与税の譲与額も増加していくことから、森林整備についても、可能な限り、体制の充実に努めたい。

### ●その他の質疑・質問●

○2年後に検討期限が迫る津市公契約条例について

- 津市公契約審議会の現況について

●労働報酬下限額の調査、検討状況について

- 各工種別労働報酬下限額設定等未整理部分があると思われるが各種技術者等協力のもとプロジェクトチームの設置が必要ではないか
- など



▲二酸化炭素吸収源となる森林整備が重要となる